



神原 則男
水曜会

待機児童ゼロを継続するための取り組みは

問 本市では、約20年前から待機児童ゼロを継続している。これまでの取り組みと今後の課題は。

答 これまで、保育所定員枠の拡大、定員の弾力的な運用、保育対象年齢の拡大などに取り組み、



連石 武則
水曜会

通学路の安全対策は

問 ①24年8月に行われた各小学校の通学路の緊急合同点検で、対策が必要とされた174カ所の進捗状況と対策内容は。②対策が必要な箇所に含まれていない用水路等への転落が危惧される場所の対応は。③新たに出される改善要望への

待機児童ゼロを継続している。

一方、保育士の確保が困難になりつつあり、低年齢での保育ニーズの高まりから、第1希望での入所が難しくなるなどの状況もある。引き続き、地域、家庭、行政が一体となった総合力の子育て支援を推進していく。

質問で引用した都市の保育所待機児童数

都市名	待機児童数(人)
大阪市	664
神戸市	531
堺市	457
広島市	335
東大阪市	214
福山市	0

(平成24年4月1日現在)

対応は。

答 ①25年5月末現在、対策済み95カ所、対策予定57カ所、調整中22カ所である。主な対策として、道路管理者が路側帯の設置・拡幅防護柵の設置等を、警察が横断歩道や信号機の設置等を、学校は通学路の変更等を実施した。②緊急合同点検の際に独自に点検し、その箇所を把握しており、今後地元の理解を得て計画的に改善する。③関係者や関係機関等と協議しながら、速やかな改善に努める。



生田 政代
公明党

風疹の予防対策は

問 首都圏を中心に風疹患者が急増している。①本市の患者数は。②感染予防の取り組みは。③ワクチン接種を促すため、接種費用の助成制度を創設しては。

答 ①本年は、1月から5月末までで4人の感染が報告されてい



門田 雅彦
公明党

ふくやま美術館の運営は

問 常設展、特別展は、どのように企画しているのか。また、*美術館連絡協議会とはどのように連携しているのか。

答 購入や寄贈などにより2798点の美術品を収蔵しており、常設展は、収蔵している美術品の中からテーマを定め選定し、企画

る。

②24年6月から、広報紙やラジオ等で注意喚起と予防接種の啓発を行い、医療機関や保育所等でポスターの掲示などを行ってきた。現在は、母子健康手帳の発行時に啓発用リーフレットの添付などに取り組んでいる。③感染症のまん延防止の観点から国、県で広域的に対応することが必要と考える。

立案している。

特別展は、美術館連絡協議会と連携し、協議会に加盟する美術館相互の情報交換を図り開催するほか、独自に調査、研究し企画立案するなど、魅力ある特別展の開催に努めている。



8月3日からの特別展の予告

こうした事業案は、館内会議や理事長との協議を経て理事会で決定している。

*美術館連絡協議会：全国の公立美術館が互いに協力し合いながら活動を活性化するために設立したもので、25年5月現在の加盟館は135館。美術展の共同企画や巡回展の開催などを行っている。

*理事長：公益財団法人ふくやま芸術文化振興財団の理事長。